



あさひ台

学 校 報
第 5 1 4 号
R5. 8. 23
五城目小学校

学校教育目標

夢高く 心たくましく 学び合う五小の子
～ つなぐ ひらく つくる ～

洪水に対する防災体制

ちょうど1年前の「あさひ台」でも、豪雨被害について触れました。まさか2年連続でこのようなことになろうとは、夢にも思っていませんでした。あらためて被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昨年8月発行の「あさひ台」では、本校の防災教育について、低・中・高学年それぞれの指導目標をお伝えしました。今回は洪水に対する防災体制についてお伝えします。

令和3年4月に作成された五城目町防災マップによると、本校敷地は最大浸水深 2.0m未滿の浸水想定区域に該当しています。洪水等が発生している又は発生が心配される状況では臨時休業を基本とし、授業中に避難が必要な状況になった場合は、次のように対応することとしています。

【洪水に対する防災体制】

	状 況	対 応
1	早期注意報情報（5日先までの予報）で警報級の可能性がある場合	気象情報等の収集
2	洪水注意報が発表された場合	気象情報等の収集 町と連絡を取り情報を共有
3	洪水警報が発表された場合	気象情報等の収集 町と連絡を取り情報を共有
4	高齢者等避難が発令された場合	保護者へ連絡し、学校で引き渡し一斉下校
5	避難指示が発令された場合	必要に応じて広域体育館へ移動し、保護者へ連絡して引き渡し一斉下校
6	学校付近の馬場目川で越水が始まった場合	校舎2階以上へ垂直避難し、屋内で安全確保

豪雨の後も、猛暑や台風、竜巻情報など、毎日のように自然災害等の情報が新聞やテレビに取り上げられていました。連日の報道を目にし、「まさか」ではなく「もしかしたら」という心構えや備えが必要なのだと感じました。9月1日は、洪水を想定した避難訓練を実施する計画です。子どもたち一人一人が命を守る行動をとることができるよう、指導に当たります。

(校長 島崎 徳之)

ありがとうございます

このたびの豪雨被害に際し、様々な機関、団体、個人の皆様が、被災された方の支援に取り組んでくださっています。その中には、本校PTA会員の方もいらっしゃいます。

そのような方々のお姿を拝見し、私も勇気をいただきました。ありがとうございます。

地域とともに学習をしています②

今年度も地域の方の協力をいただきながら、あるいは学校周辺の施設を活用しながら、様々な学習活動を展開しています。今回は「みんなの学校」について紹介します。

みんなの学校

生涯学習課主催の事業ですが、五城目小学校を会場に開催したり、五城目小学校の児童が参加したりしています。7月には「朝市が楽しくなる朝ぷら♪入門」が五城目小学校で開催され、3・4年生も参加しました。この後も、「みんなの救急救命」や「みんなのボッチャ」などに五城目小学校の児童が参加します。「みんなの学校」は町民の皆さんを対象にした講座ですので、関心のある講座についてはお気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか。



「朝市が楽しくなる朝ぷら♪入門」の様子です。子どもたちの笑顔がたくさん見られました。

皆泳プロジェクト中止について

7月の大雨により温水プールの設備が痛み、使用できなくなりました。これに伴い、6月から実施してきた今年度の皆泳プロジェクトも中止となります。

残暑厳しい中、プールの授業を楽しみにしている子どもたちも多いかと思いますが、このような事情ですので、どうかご理解いただけますようお願いいたします。

また、クラブ活動の一つである水泳クラブは、グラウンドゴルフクラブに合流し、今後活動することになります。併せて、お知らせいたします。

